

平成31年度 秋田県立大館鳳鳴高等学校 2学年地理歴史科シラバス

地 理 B

I 学習の到達目標

1. 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等の事象を通して現代世界の特色を系統地理的に考察する。
2. 現代世界を地域(市町村規模、国家規模、州・大陸規模)のスケールをふまえながら地誌的に考察する。
3. 現代世界の諸課題(国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題)の現状と背景を理解し、解決策を探る。
4. 地理という科目が世界をとらえるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え自分の意見を言える力を身に付ける。

使用教科書・副教材等: 新詳地理B(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、2019地理統計要覧(二宮)、新編地理資料2019(とうほう)

月	学 習 内 容	学習のねらい(目標)
4	第I部 様々な地図と地理的技能 I-1 地理情報と地図 I-2 地図の活用と地域調査	リモートセンシングやGISによる地図が地球の現状認識に役立つことに気づき、地理情報が生活と結びついていることを理解する。様々な時代の世界地図の読図により、人々の世界観の変化を理解する。地球儀の活用や時差に関する学習から地球が球体であることを確認し、1枚の世界地図は球面上の情報をすべて正しく表現できないこと、使用目的に応じて図法の異なる世界地図を使うことを理解する。地図の種類とそれぞれの特色を理解する。現代世界に関する統計を地理情報に加工し、分布図や階級区分図を作成できる地理的技能を習得する。地形図、都市計画図、住宅地図などの特色を理解し、地域調査の目的や方法に適した地図を選択し、入手できる能力を習得する。
5	第II部 現代世界の系統地理的考察 II-1 自然環境 II-1-1 世界の地形	地上には営力により様々な規模の地形あることを大観する。大地形・小地形それぞれの特徴、分布や形成要因について基礎的知識や概念を習得し、地形と生活、自然災害との関係を考察する。地形図の読図技能を習得する。
6	II-1-2 世界の気候 【前期中間考査】	地球規模でみた気温・降水量・大気大循環、海洋や水の循環を取り上げ、それぞれの特色や形成要因を考察・理解する。長期的におこる気候変動と、異常気象について理解する。
7	II-1-3 日本の自然の特徴と人々の生活 II-1-4 環境問題	日本の地形、気候の特色を理解し防災的な観点からも考察する。
8	II-2 資源と産業 II-2-1 世界の農林水産業	世界の農業・水産業・林業を取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界や日本の食料問題・課題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。
9	II-2-2 食料問題 【前期期末考査】	
10	II-2-3 世界のエネルギー 鉱産資源 II-2-4 資源・エネルギー問題	世界の資源・エネルギーを取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察させ、基礎的・基本的知識を習得する。世界や日本の資源・エネルギー問題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。
11	II-2-5 世界の工業 II-2-6 第3次産業	世界の工業の成り立ち・立地を取り上げ、工業地域の形成と変容に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。グローバル化する中で世界と日本の工業に関して世界的視野に留意して、それらの動向・形成要因について考察する。
12	II-2-7 世界を結ぶ交通・通信 II-2-8 現代世界の貿易と経済圏 【後期中間考査】	世界の交通・情報通信・貿易・商業・観光を取り上げて、それぞれの特色と動向、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。それぞれの課題に関して世界的視野に留意して考察する。
1	II-3 人口、村落・都市 II-3-1 世界の人口 II-3-2 人口問題	世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界の人口増加地域と減少地域の人口問題を比較しながら、日本の人口問題とも関連させて考察する。
2	II-3-3 村落と都市	様々な規模の集落があることを理解し、村落の立地と形態、都市の発達と変容に関して考察し、村落・都市に関する基礎的・基本的知識を習得する。世界と日本の居住・都市問題の地域性や形成要因について世界的視野に留意して考察する。地形図から村落形態を読み取る地理的技能を習得する。
3	II-3-4 都市・居住問題	

評価方法: 前・後期共通

・考査および提出物や実カテストによる総合評価。

・評価は、社会的現象への「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」の4つを単元ごとに行う。「関心・意欲・態度」は、授業の様子や発問に対する返答等から、「思考・判断・表現」は、各テストや授業の様子、資料の読み取りから、「資料・活用の技能・表現」および「知識・理解」は各テストや授業の様子から総合的に評価する。